

## 報告事項

### 2019年度事業計画

度重なる大規模災害に対応するため、九州地区獣医師会連合会は、九州VMA Tの創世を最優先の課題としている。

災害対応には不確定要素が多く困難を伴うが、本会も行政機関、関係諸団体と連携し、動物救護体制を確立することが急務である。会員各位の協力を得て邁進したい。

豚コレラの国内発生など越境性感染症の危険性が高まっている。人と動物の健康と環境の保全を推進する「ONE Health」を実践し、防疫体制の強化を図る。

#### ○主要事業

- 1 災害時の動物救済支援と希少野生動物保護支援
- 2 狂犬病予防及びその知識の普及、啓発に関する事業
- 3 人と動物の共通感染症予防及びそれらの知識の普及、啓発に関する事業
- 4 動物愛護に関する事業
- 5 夜間救急動物診療事業
- 6 学校飼育動物支援事業
- 7 適正な管理に関する事業
- 8 (介助犬)盲導犬利用者支援
- 9 会員病院において動物愛護及び適正管理に係る普及活動
- 10 公衆衛生の向上に関する事業
- 11 畜産の振興に関する事業
- 12 獣医師等従事者の学会等参加への支援
- 13 獣医学術、獣医療の専門書等の貸し出し
- 14 学会、講習会、研修会等の開催
- 15 公益社団法人日本獣医師会が実施する獣医師生涯研修事業への協力
- 16 その他この法人の目的を達成するために必要な事業

#### ○事業推進事項

- 1 北九州市VMA Tの育成強化、行政機関、関係諸団体との協働事業の実施
- 2 越境性感染症の防疫体制の強化の推進
- 3 第68回九州地区獣医師大会・学会“佐賀”への参加協力